

厚生労働大臣 加藤 勝信 様

食事提供体制加算に対する緊急要望書

11月27日の厚生労働省の第15回障害福祉サービス等報酬改定検討チームにおいて、通所系施設の食事提供体制加算の廃止案が提案され、関係者は驚愕しています。本年7月の同チームによる関係団体のヒアリングでは、基本的にはすべての団体が経過措置の継続を求めていたからです。是非その声を受けとめてください。

この加算が廃止されれば、食費が障害のある施設利用者の全額負担となり、多くの当事者には過大な負担となり、通所を断念することにもなりかねません。また、事業所の給食廃止が想定され、この場合は弁当の持参が考えられますが、これについても費用面での負担や栄養面の懸念が生じます。

食事提供は利用者の健康保持のために必要な支援であり、利用者の負担増の回避策としては事業所負担しかありませんが、これは事業所運営にとって大きな打撃になります。事業所の経営実態からみて、長続きするとは考えられません。

以上のことから、次の事項を要望します。

要望事項

1. 食事提供に関しては報酬に加算するのではなく、恒久的な制度とすること。
2. 1の制度検討に時間を要するのであれば、当面現行の加算制度を継続すること。

（署名）

団体・事業所名

住所

代表者

印